

幅広い分野で建築職員が活躍中！

公共施設の建築・修繕（営繕）

市民の身近な暮らしに直結した施設の整備（設計・工事など）に携わることで、将来の神戸市の姿のかたちづくりをしています。



法令による指導・許認可（行政）

建築物や神戸のまちを、様々な法令からチェックするとともに、条例等による神戸市独自のルールを制定することで、神戸らしいまちを守り・育て、持続可能な社会づくりをしています。



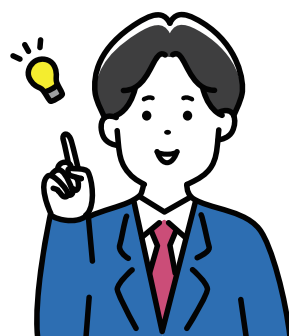
事業・まちづくり・政策

都心・三宮再整備、空地空家対策、駅周辺のリノベーションなどのさまざまな事業に建築的な視点から関わることで、神戸のまちを魅力的なものにしています。



専門知識や技術を習得する制度が充実！

年次別研修、基礎研修、専門研修などの建築職員向けの研修を毎年多数実施しています。また、一級建築士などの資格取得にかかる講習経費や受験料の助成（上限100万円）など、手厚い支援を受けることができます。



多くの仕事に触れる機会があります！

おおむね3年から5年ごとに配属先の異動があります。様々なジャンルの仕事や職場を経験することで、自身の見識を広げることができます。

主な配属先

主に建築住宅局や都市局で建築職員が活躍していますが、区役所や市の外郭団体などさまざまな部局にも配属されています。

データで見る建築職員 （2024年4月時点）



民間経験者の職員も活躍中！

- Q どの職種からの転職が多いの？
- A ゼネコン、設計事務所、ハウスメーカー、デベロッパーなど
- Q 建築職員全体の中で経験者採用の人ってどれぐらいいるの？
- A 約16%

神戸市人事委員会

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1

神戸市職員採用ホームページ

神戸市 職員採用

検索



TEL 0570-083-330

または 078-333-3330

神戸市お問い合わせセンター（年中無休 8時～21時）



メールでの問い合わせはこちら

2025年2月発行

神戸市職員 職務ガイド [建築]



六甲最高峰トイレ（2020年度完成）



未来の神戸市を形づくる神戸建築人



こべっこランド（2022年度完成）

建築職員とは？

市有建築物や市営住宅の企画、設計・工事監理及び維持保全、建築基準法をはじめとする法令による建築物の規制・誘導、市民・事業者との協働によるまちづくりの推進、空家空地の有効活用などのすまいやまちづくりに関する政策立案 など、建築やまちづくりに関する幅広い事業に携わります。



「建築」について
詳しくはこちら

まちづくりに貢献したい
安心・安全で生きた



みたに まほ
三谷 真帆 | 建築住宅局 建築指導部 建築安全課
2024年入庁

大学で地元を離れてみてわかったのは、神戸のまちの表情の豊かさ。新しくなっていくことで生み出される賑わい。そのような“生きたまちづくり”に関わりたいと思い入庁しました。

私の部署は、建物を新しく建てる際「このような建物を建ててもよいか」という申請を事業者の方から受け、法適合審査を行う部署であるため、神戸の未来像を少し早く知ることができます。神戸が安全なまちになるよう、責任感を持って日々審査に取り組んでおり、自分が審査に関わった建物が増えていくのはやりがいにも繋がっています。

昨年、職場の理解・サポートもあり、一級建築士の試験に合格することができました。しかし、まだまだ建築職員として必要な知識は多くあると思います。建築主事の資格取得を今後の目標にし、これからも神戸のまちに貢献できる仕事をしていきたいです。



神戸らしいまちなみを創り、
守るひととして



ながせ しゅうへい
那俄性 修兵 | 港湾局 工務課
2015年入庁

ふ頭エリアや海岸沿いのエリア(ウォーターフロント)にある公共上屋やフェリーターミナル、港湾労働者の休憩所などの港湾施設の企画・設計・工事を担当しています。市民のみなさんがあまり目にするような施設ではありませんが、神戸の港を支える労働者や神戸を訪れる方々に安心して利用していただけるよう、日々の業務に取り組んでいます。

神戸のまちなみは、奇抜で面白いデザインの建物やモニュメントが多いため、見ていて飽きず、おもしろいです。綺麗で古い洋館もあれば、最先端のビルもある。この見事な調和が神戸らしさでもあるのかなと思います。その“まちなみを創るひと”として大きなプロジェクトに携わることを今後の目標に、日々の業務に加え、資格取得など自分自身のスキルアップにも力を入れていきたいです。



積み重ねていきたい
感謝される仕事をひとつひとつ



うえにし さあや
植西 沙綾 | 建築住宅局 建築課
2018年入庁

建築課では、市有建築物の設計・工事監理を行っており、その中には新築工事や維持管理のための改修工事など様々な工事内容があります。私は主に児童館や保育所など福祉施設の工事に携わっています。日々新しい知識や経験の積み重ねですが、自分が関わった施設が実際に使われている様子を見たときに、建築の分野で働くおもしろさとやりがいを感じます。職場には、未経験者から多様な経験を重ねた先輩方まで幅広くいるので、困った際には相談しやすく、安心できる環境です。

神戸市の建築職員は、建築に限らず、様々な神戸の情報に触れることができるため、日々新鮮な気持ちで働くことができます。仕事とプライベートのバランスも取りやすいので、休日には美味しいものを食べ、散歩などを楽しむことでリフレッシュしています。



市民のみなさんと一緒に
より良いまちづくりを



ののぐち よしと
野々口 義人 | 都市局 景観政策課 係長
2016年入庁【民間企業勤務経験あり】

神戸市の建築職員として働く前は、民間の建材メーカーで研究開発職に就いていましたが、「誰のために仕事をするか」を身近に感じながら働きたいという想いが強くなり、腰を据えて地域のことに注力できる公務員への転職を決意しました。私の課は、市民のみなさんと共にまちの景観を考え創っていく仕事をしており、北野エリアの魅力や夜間景観の向上に向けて日々取り組んでいます。最近では、旧居留地のイルミネーションなど公共空間の印象を変える仕事に携わり、形となってまちに貢献できたことに非常に達成感を感じました。

神戸の“これからのまち”を考えられるというのは神戸市の建築職員としてのやりがいだと思います。今後もより良いまちを市民のみなさんと一緒に創っていきたいです。



北野エリアの夜間景観